

八戸高専OGのロールモデル

母娘で高専編 ①

娘… 電気情報工学コース、IFC・放送部

母… 電気工学科 平成10年3月卒

【娘への質問】

- ・ どうして入りたいと思いましたか(何歳ごろに八戸高専の存在を知りましたか)

高専を知ったのは、小学校高学年の頃。母にすすめられたのだが、工業系はいやだった。そこで、母が「化学の学校(メカNOワールド)」に連れていってくれた。それをきっかけに、作ることが面白くなった。高専の入学は自分の意思。

- ・ 入りたいと思ったとき、家族(特に母)はどのような反応でしたか？

「入りたいと思ってくれて良かった！」

- ・ 専門のコースを決めた決め手は？

機械工学科を希望していたが、男女比のことで電気情報工学科の方を母からすすめられた。電気を勉強していれば、工学の世界を広く知ることが出来るので、「夢が変わっても大丈夫」とも教えてもらった。

- ・ 入学してみて、八戸高専のことをどう思っていますか？

想像通りだった。楽しい。

二年になると専門が増えるので、近づいている感じがする。

母が教わっていた先生と同じ先生で、それが面白い。

母から、先生のことを聞いたりする(レポート再提出のルールなど)。

- ・ 普段どんな学生生活を送っていますか？

友達と楽しく過ごしている。

習い事(空手)をしている。

・ 八戸高専卒業後、どのような将来像を考えていますか？

進学したい。専攻科か大学編入科はまだ決めていない。

卒業後の就職は考えていないが、航空関係の仕事をしたいと思っている。

・ 母と同じ母校ということにどんな思いを抱いていますか？

鮫町の人にとってはよくあることなので、普通。

・ その他、何かありましたら、ご自由にご記入ください。

【母への質問】

・ どうして入りたいと思いましたが(何歳頃に八戸高専の存在を知りましたか)

小学校高学年頃、高専のパンフレットを見たことで知った。

学費が安い、就職率が良いとの理由で両親にすすめられたから。

・ 入りたいと思ったとき、家族はどのような反応でしたか？

入りたい、というより入りたくないのが当時の自分の気持ちだった。

英語が好きで、通訳になりたいという夢があったので、中3のときに反抗した。

私立高校の英語科に行きたかったが、経済的に無理だと反対された。

・ 八戸高専を卒業したことをどう思っていますか？

今では誇りに思っていて、両親には感謝している。

不況や不遇の時代があっても、なんとか働き続けてこられた。

・ご自身の学生生活はどんな学生生活でしたか？

関心の無い電気と苦手な数学や物理を勉強するのがとても苦痛だった。

実験のレポートも大変だった。

女子が少なく、他の科との交流もほとんどなかった。

勉強に追われて、楽しいとはいえないものだった。

・ご自身が在学中と現在を比べて、八戸高専はどうですか？

とにかく女子が多い！

制服が可愛すぎる。昔は光る青いネクタイで、ある意味目立っていた。

国際交流が画期的でうらやましい。以前は数人での英検学習会くらいしかなかった。

・わが子をご自身と同じ母校に入学したということにどんな思いを抱いていますか？

非常に感慨深いものがある。

自分と違い、明瞭な目標を持って学生生活を楽しんでいるので嬉しい。

・わが子の高専卒業後に対してどのような将来像を考えていますか？

好きなことを仕事に出来れば何よりだと思っている。

親の一方的な期待よりも、子供の無限大の可能性を信じたい気持ち。

自身も、英語の通訳にはなれなかったが、手話通訳にはなることが出来た。

苦手で大嫌いだった電気だが、今はやりがいのある職に就き充実している。

・その他何か、ご意見などございましたら、自由にご記入ください。

この度は、貴重な機会をいただきありがとうございました。